

職員研修会

遊びや活動の分析をしました。

12月13日、常磐会短期大学の ^{しめだ} 卜田真一郎 教授を講師に、職員研修会を行いました。

第2保育所・道明寺幼稚園の先生方と、市内公立保育所と幼稚園の先生方も交え、前半は『保育内容のあり方を考える』としての講義。後半は、幼保の先生方の研究チームでグループワークに取り組みました。

乳幼児期の保育・教育は「活動＝遊び」が中心です！
活動を読み取り、保育していくには分析していく視点をしっかりとつことが大切です。

^{しめだ} 卜田 真一郎先生より

保育者には
これが大事！



- * 子どもが楽しくなる関わり
- * 子どもが遊びに必要な能力を身につけていける援助
- * 子ども同士の関わり合いを生み出す援助
- * 子どもの友達への見方が変わっていくような援助



グループワーク

子どもの遊びをどんな視点で見えていくか考えを出し合い、分析を深めていきました。

この時の環境は
どうやったのかな



これはすごく
子どもに合っ
たよね

この遊びの楽しさは
どこにあるんやろ？



私が子どもに持って
ほしいのは自信やな

子どもがどんな経験
をしてきているかを
考えるのは大事やね



活発な意見交換と、
あちこちから笑い声も…

子ども達のために
がんばるぞ！！

園内には第2保・道幼混合研究チームが4チームあります。
今年もそれぞれに研究テーマを決めて話し合い、コロナの状況を見ながらですが、合同保育なども行い頑張っています！！

